

ランチョンミーティングについて (2023-4-21 会議資料)

・これまで

過去に4回行われてきた(2018, 2019, 2021, 2023年)。(それより以前はシンポジウムを開催)

・2023年について(報告)

・春季大会(オンライン)において、2023年3月23日12:30-13:20にZoomで開催(12月の会議で日時の候補日を決めてインフォーマルミーティングに申請)

・内容は、「近未来の若手人材のキャリア・社会接点を考える」と題し、学生から若手研究者を対象に、ロールモデルとなる現在活躍されている研究者に講演をしてもらった。(フライヤーを参照のこと)

・Zoomでの参加者は42名(関係者を除くと27名)

・事前案内について、

学会Webページのお知らせ欄(事務局)、Twitter(事務局)

物性若手夏の学校(大島)、hecforum(岩崎先生)

Sg-1(素粒子理論+原子核理論+宇宙論の一部)(浜口先生)

良かった点:

・委員会メンバーも大きく入れ替わり、最後の開催の事情を知る人が少なくなってしまったこと、またオンライン開催であることなどの厳しい状況の中でとりあえず開催できた。

・予想に反して多くの参加者が得られたと考えられる。(過去に行われたミーティングと遜色ない参加数) どうしてこれだけの人数が参加してくれたか、よくわからない。各方面に追加で連絡したことが功を奏したのか。

・講演者のお二人が素晴らしい講演を行い、好評を得た。開催した価値はあったと思われる。

改善点:

・質問が少ないと予想して、講演時間を緩めに設定して講演者に伝えたため、時間が大幅に超過してしまい、質問や議論の時間が全然取れなかった。内容が面白かっただけに残念だった。

・当日に至る準備状況が終止遅れていたため、余裕を持った対応ができなかった。

・フライヤー(電子版)の置き場所が決まらなかったため、大島の研究室のサイト内に急遽設置した。できれば、ダイバシティー推進のページ内に置ければ良い。

・今後の内容について

今後について委員会で検討が必要。今回(春に行われたランチョンミーティング)の反省を

踏まえて、今後どのような開催の仕方、内容が良いか検討・議論して欲しい。

・2024年の日程

春季：オンライン開催 2024年3月18日(月)～21日(木)※素核宇・物性ともに同じ会期

年次(秋季)：北海道大学(札幌キャンパス) 2024年9月16日(月)～19日(木)

(※素核宇・物性が同じ場所?)

→詳細の確認が必要

以下は、過去2年で検討された案

- ・ロールモデル(夫婦(パートナー)で共に研究者をされている話) 2022年案
候補者(二人くらいにオファーの予定だった)
 - ・高須(昌子)先生(生物物理, 東薬大, ご主人も物理屋さん)(溝川先生より)
 - ・江口(律子)先生(岡山大, ウーマンテニュアトラック)(小林先生より)
 - ・Steve Samantha Lynn スティーバー サマンサ リン先生(岡山大, アメリカの人)(小林先生より)
 - ・増田(孝彦)先生(岡山大, 奥さん単身赴任)(市川先生より)
- ・在宅勤務と男女共同参画(野尻先生がアンケートまとめておられる)
- ・開催地(大学)での男女共同参画の取り組み(当事者の話も)
- ・教育のどの段階で男女差が生まれるか, 横山(広美)先生がアンケートを出されている。横山先生かその共同研究者のお話を聞く(市川先生より)

*最近の記事

「生徒の3分の2が理系」という女子校が崩す、親世代の“思い込み” 男子ばかりの理系、背景にあるジェンダーバイアス | 47NEWS

<https://nordot.app/882498015294373888?c=39546741839462401>

過去情報(2018～2021年度までは藤原先生)：

2018年 第73回年次大会(3/22-25)

東京理科大学 野田キャンパス 3/23, 12:00-13:00

- ・第4回科学技術系専門職の男女共同実態調査報告と課題(藤原委員、佐野委員)
- ・話題提供1 服部梓先生(大阪大)
- ・話題提供2 石崎章仁先生(分子研)
- ・オープンディスカッション

2019年 第74回年次大会

九州大学 伊都キャンパス

- ・九州大学の取り組み紹介（九州大学男女共同参画推進室：上瀧恵里子氏）
- ・発題：学会として必要な取り組み（藤原委員）
- ・オープンディスカッション

2020年 第75回年次大会 → 中止

名古屋大学（東山キャンパス） 12:30-13:20

- ・男女共同参画学協会連絡会シンポジウムで扱う予定だった内容紹介
+ 「科学・技術分野の次世代育成と環境づくり」
 - 「次世代育成」（5分）中本先生
 - 「環境づくり」（5分）曹先生

- ・若手研究者育成における女性研究者支援についての報告と議論
- ・若手奨励賞に関する現状と女性受賞者の低比率データ報告

※若手奨励賞をやって来ているが、それに対して女性自身が応募しているのだろうか？5年間を統計して、応募者比率を全体で出せばよい

（領域の違いは示さない）（3分）藤原

- ・米沢富美子賞のねらいや意義（10分）勝本先生
- ・パネルディスカッション（22分）

（仮題）「若手研究者育成における女性研究者の支援について」

司会（藤原）

パネリスト3名：

勝本先生、中本先生、曹先生

2021年 第75回年次大会 オンラインで開催

テーマ「リーダーシップをもつ若手女性研究者の育成について」

1. 開会挨拶
2. 科学・技術分野の次世代育成と環境づくりについて
（男女共同参画推進委員より）
3. 若手研究者育成における女性研究者支援についての報告
 - ・若手奨励賞に関する現状（男女共同参画推進委員より）
 - ・米沢富美子賞のねらいや意義について（勝本理事）
4. ディスカッション
5. 閉会挨拶

・2022年（春）→ 中止

・当初、オンサイトでを行うことを計画、インフォーマルミーティング(IM)登録直前にIMについてはオンラインのみの制約があることが判明(12月)

- ・委員は現地にいるなど困難が発生すること等を鑑み、取りやめて代わりに現地で委員会を開くことに決定
- ・大会直前で全てオンラインに変更され、委員会も中止に。